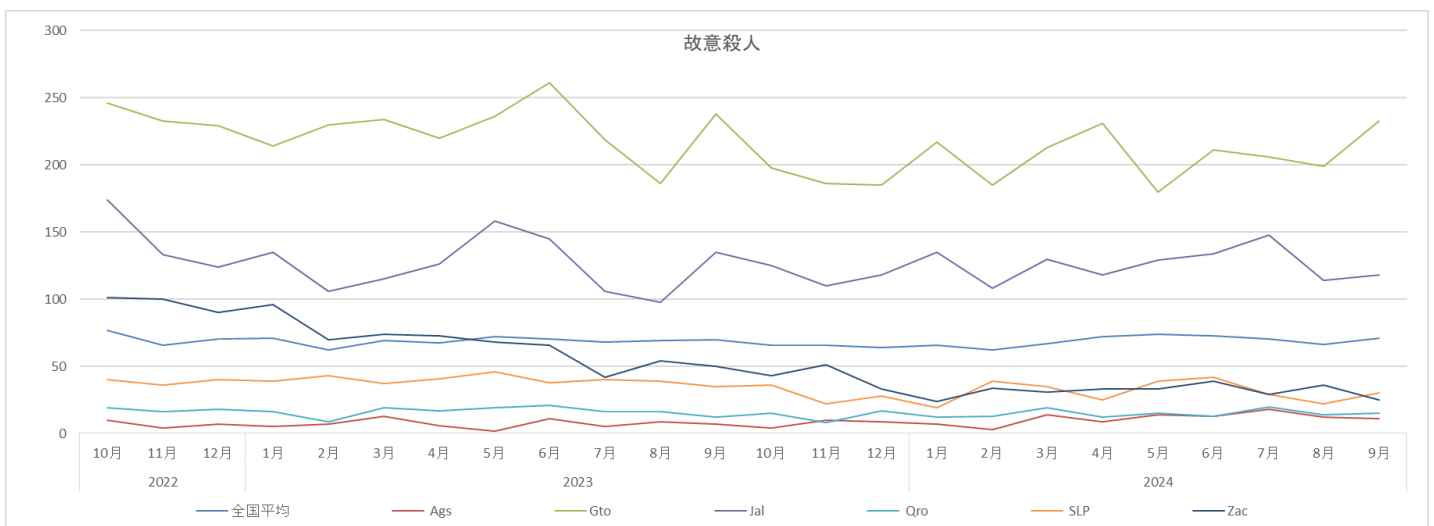
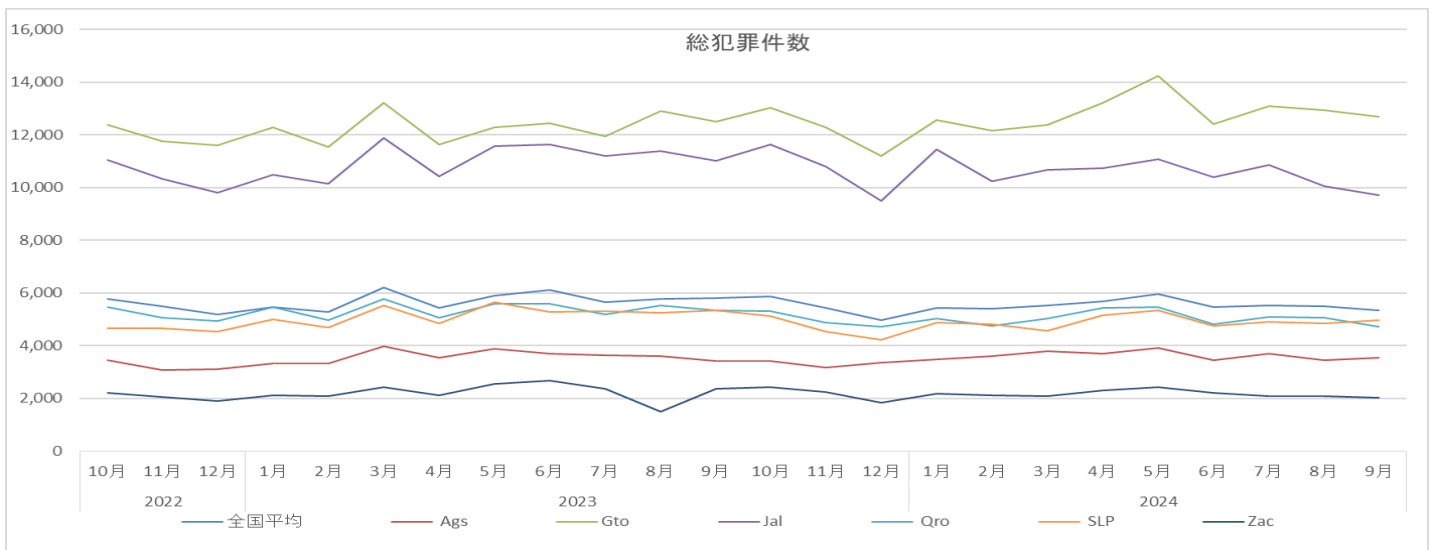
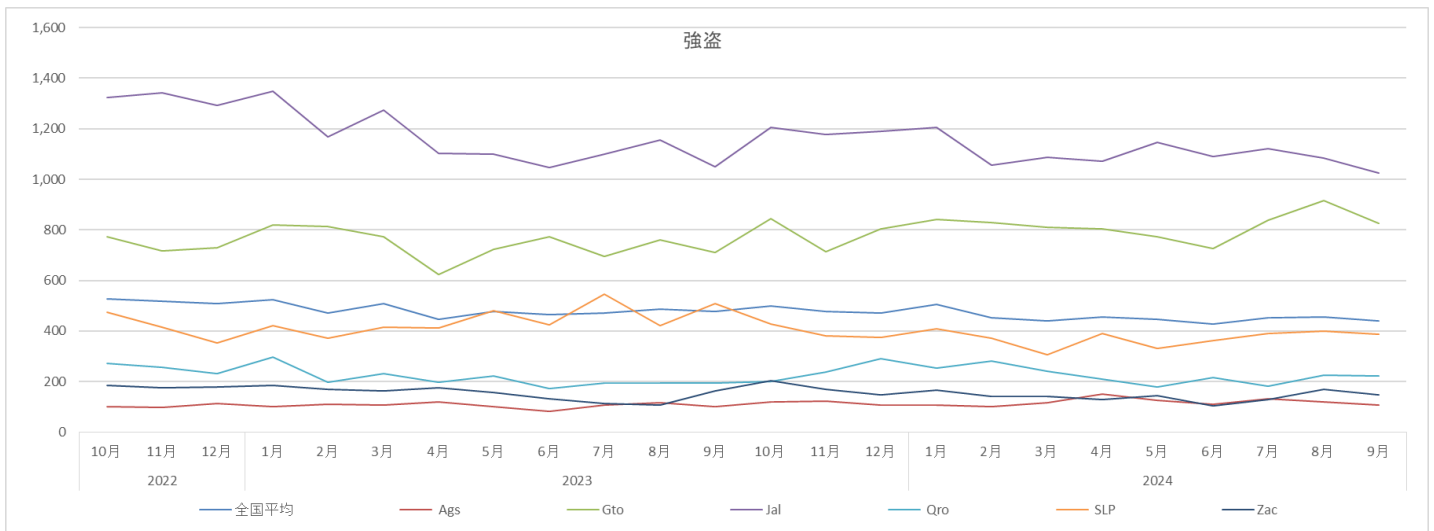


1 治安・社会情勢

メキシコ国内では複数のカルテル（麻薬組織）が存在しており、故意殺人の多くはカルテルによる抗争が大きく関係していると言われています。特にグアナファト州は、サンタ・ロサ・デ・リマ・カルテル（CSRL）とハリスコ新世代カルテル（CJNG）との抗争が数年間続いている影響もあり、全国的にも故意殺人が最も多く発生し、2024年は9月までに1,875件の故意殺人が発生している州となっております。近年ではCSRLは弱体化していると言われておりますが、CJNGがCSRLの支配地を奪おうとの抗争が活発化している地区もあり、抗争はまだ続くと考えられます。一般的には、カルテルの標的は麻薬関係者などの犯罪組織に関わる者や治安当局関係者と言われておりますが、カルテル同士の銃撃戦に一般市民が巻き込まれるほか、誤認により殺害されるケースも見られるため十分注意が必要です。

当館管轄の6州では、サカテカス州も激しい抗争地域となっており凄惨な事件も多く報道されております。隣接しているアグアスカリエンテス州でも、サカテカス州の抗争に関連するような事件や逮捕者も出ており、州境には警察を配備するなど緊張が高まっております。国内でカルテルが活動していない州はなく、複数のカルテルが1つの州内で活動しているのがほとんどで、カルテル同士で協定を結び上手く棲み分けしている州（地域）は故意殺人が少ない傾向にありますが、グアナファト州やサカテカス州のように、何かのきっかけで抗争が始まり、治安が急激に悪化した州もあります。また、一般的に治安が安定していると言われる州においても、カルテルの犯行と思われる犯罪や誘拐事件なども発生しておりますので、治安情報は常に新しい情報を入手するよう心掛けて下さい。





2 管轄地域内における一般犯罪の傾向

(1) グアナファト州

・人口約616万人 犯罪認知総数（7月～9月）37,128件

故意殺人の件数は緩やかに減少しておりましたが、2022年に入り再び増加傾向となっていることから、カルテルの抗争が激化していると予想されます。引き続きカルテルによる事件は継続すると考えられます。当地報道によると、特にセラヤ市ではカルテルの抗争により、2024年8月は殺人件数80人を超える事件が発生しております。また、強盗被害も依然として多く発生しており、都市間の移動は時間帯など考慮して運行計画を立てる事も重要ですが、通勤時間帯に車両強盗被害に遭う事件も継続して発生しており、一般的な対策だけでは防ぐことができません。更に、同地域では高速道路上（45D号線）での強盗被害も多く、2024年9月現在の邦人被害は4件発生（当館へ報告いただいた被害のみ）。国籍関係無く、SUVタイプ、ピックアップタイプの車両が狙われやすい傾向にあり、2024年1月から5月までに307件の車両被害が発生しています。

犯行手口として、走行中に犯人が横付けして銃器で脅し車両を強奪することや、被害者が一時的に犯人車両に監禁される事件や強盗目的で歩道橋から投石し、車両を強制的に停車させるような手口が日中・夜間関係無く発生しています。万が一同被害に遭ってしまった場合は、相手を刺激せず命を守るような行動をとって下さい。

・邦人被害（7月～9月）5件（車上狙い被害2件 強盗被害2件 窃盗被害1件）

●車上狙い被害

8月22日15時頃、メキシコ人スタッフが運転、邦人男性1名が同乗（SUV）し合計2名で高速道路を走行中に、後方から現れた白バン車両に道を塞がれ停車させられたと同時に、白バン車両の窓から乗り出し拳銃を向けてきた。白バン車両には3人乗車していた。3人のうち2人が邦人車両に乗り込み、犯人の運転で後部座席に乗せられたまま5分程走行（残る1人は白バン車両を運転し、邦人車両を先導）後、拳銃で脅されながら車両を移動するよう指示され、白バン車両へ乗せられた。（その間に犯人のうち1人は邦人車両で逃走。）アパセオエルグランデ方面へ白バン車両に拘束されながら移動、その際に現金・携帯・腕時計・鍵を奪われた。30分程走行した後、アパセオエルグランデ周辺で車両から降りるよう指示され解放された。

8月28日9時頃、邦人男性1名（企業駐在員）が1人で車両（SUV）を運転し、イラプアト市からケレタロ州へ高速道路を走行中、白バン車両が邦人男性の運転する車両に並走し、窓から拳銃を向けてきた。白バン車両には3人乗車しており、犯人から停車するよう指示されたため、指示に従い停車。その後、犯人車両へ移動するよう指示され移動した。犯人車両内で携帯電話、財布、腕時計、自動車の鍵を奪われた。40分程走行した後、セラヤ市周辺で犯人車両から降ろされ解放された。

9月5日19時頃、邦人男性3名（企業駐在員1名、出張者2名）で仕事帰りにレオン市のSan Pedro沿いのコンビニエンスストアへ立ち寄った。店内で3分程買い物し車両に戻ったところ、後部窓が割られていた。トランクに置いていたリュック（現金、クレジットカード等）が盗難された。

車両強盗の多くは、拳銃の使用や道路を塞ぐなど手荒な犯行がほとんどです。また、強盗に遭った際は、抵抗することなく犯人の要求に応じ、犯人を見つめたり、追いかけたりする等、犯人を刺激するような言動は避けて下さい。

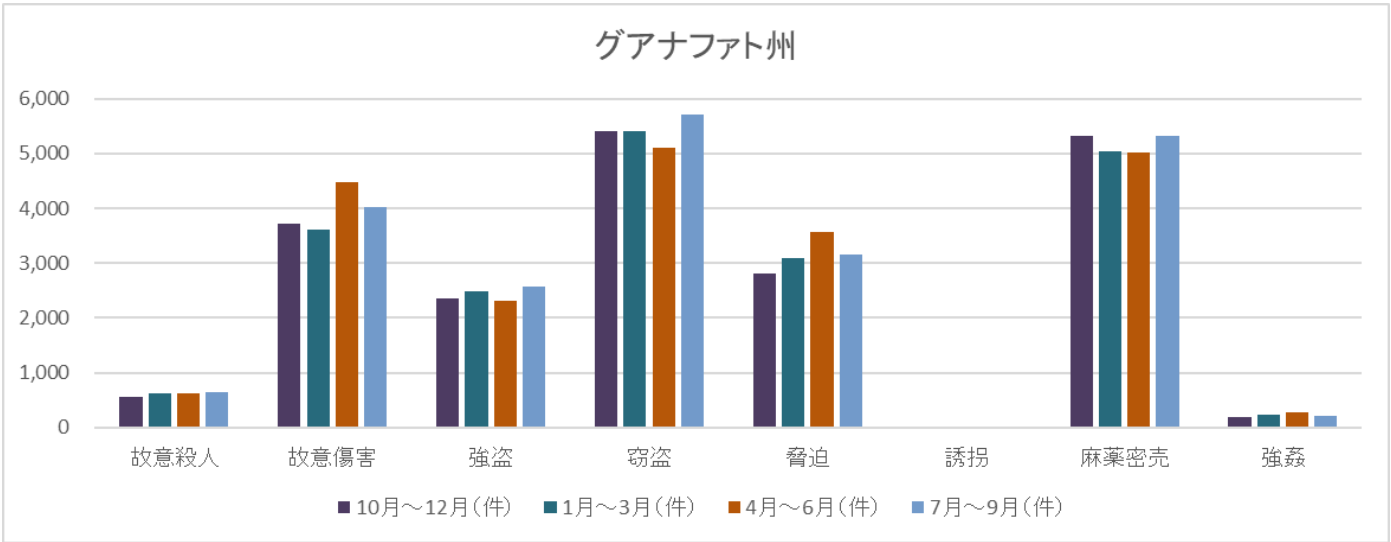
●強盗被害

9月6日21時頃、邦人女性（永住者）が外出先から帰宅途中に、レオン市グアダルルーペ地区にあるドラッグストアへ立ち寄った。ドラッグストアの駐車場に駐車し店内で1～2分程度買い物し戻ってきたところ、左側後部座席の窓ガラスが割られていた。助手席足元に外から見えないよう置いていた鞆（財布、パソコン、パスポート等）を盗難された。

9月13日22時頃、邦人男性（企業駐在員）がアプリで知り合った女性を自宅に招き入れ、その女性とお酒を飲んでいて。その後、邦人男性は眠ってしまい、気がついたときには女性はおらず、自宅に置いていた現金、パソコン、銀行カードを盗られていた。邦人男性には外傷は無く、健康上の問題もなかった。現地で知り合った人からすすめられた食べ物、飲み物は、たとえそれが未開封な状態に見えても不用意に口にしない方が賢明です。また、初めての人と食事をする場合、一度でも目を離した食べ物には手を付けないことも対策として検討して下さい。

僅かな時間であっても車から離れる際は鍵を掛け、パソコン、パスポートなどの貴重品や鞆は、車内に残さず必ず携行するか、外出時に不要なものはなるべく持ち出さないようにして下さい。

■主な犯罪	10月～12月(件)	1月～3月(件)	4月～6月(件)	7月～9月(件)
故意殺人	569	615	622	638
故意傷害	3,713	3,622	4,481	4,020
強盗	2,363	2,480	2,306	2,578
窃盗	5,412	5,401	5,109	5,704
脅迫	2,812	3,093	3,563	3,163
誘拐	2	2	4	3
麻薬密売	5,329	5,039	5,018	5,333
強姦	202	234	281	223



(2) アグアスカリエンテス州

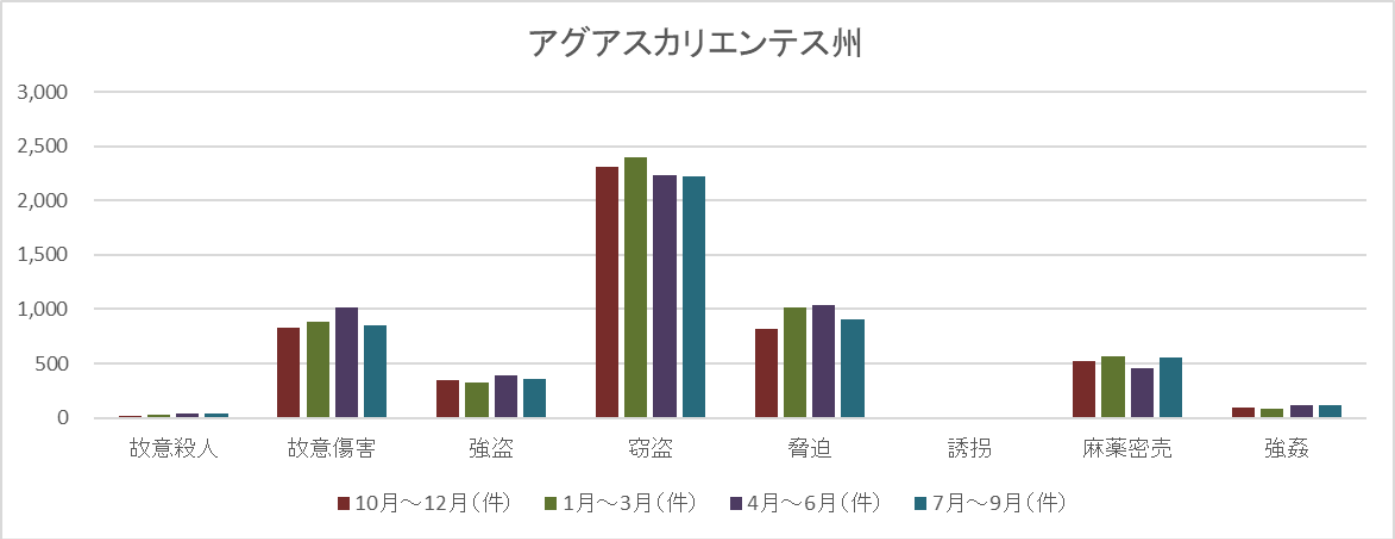
・人口約142万人 犯罪認知総数（7月～9月）10,864件

犯罪件数は少ない州ですが、犯罪発生率（人口の割合）では窃盗や強盗の割合が高い州です。犯罪の多くはアグアスカリエンテス市で発生しており、窃盗の中でも特に車上荒らしは邦人被害が多いため、駐車する位置は人目の多いところを意識して選定し、貴重品は絶対に車内に残さないよう徹底して下さい。

・邦人被害（7月～9月）0件

7月～9月の邦人被害報告はありませんでした。

■主な犯罪	10月～12月(件)	1月～3月(件)	4月～6月(件)	7月～9月(件)
故意殺人	23	24	36	41
故意傷害	826	883	1,014	847
強盗	349	323	388	360
窃盗	2,310	2,401	2,237	2,224
脅迫	822	1,012	1,038	902
誘拐	1	1	0	0
麻薬密売	521	563	462	551
強姦	96	84	115	119



(3) ハリスコ州

・人口約834万人 犯罪認知総数（7月～9月）32,377件

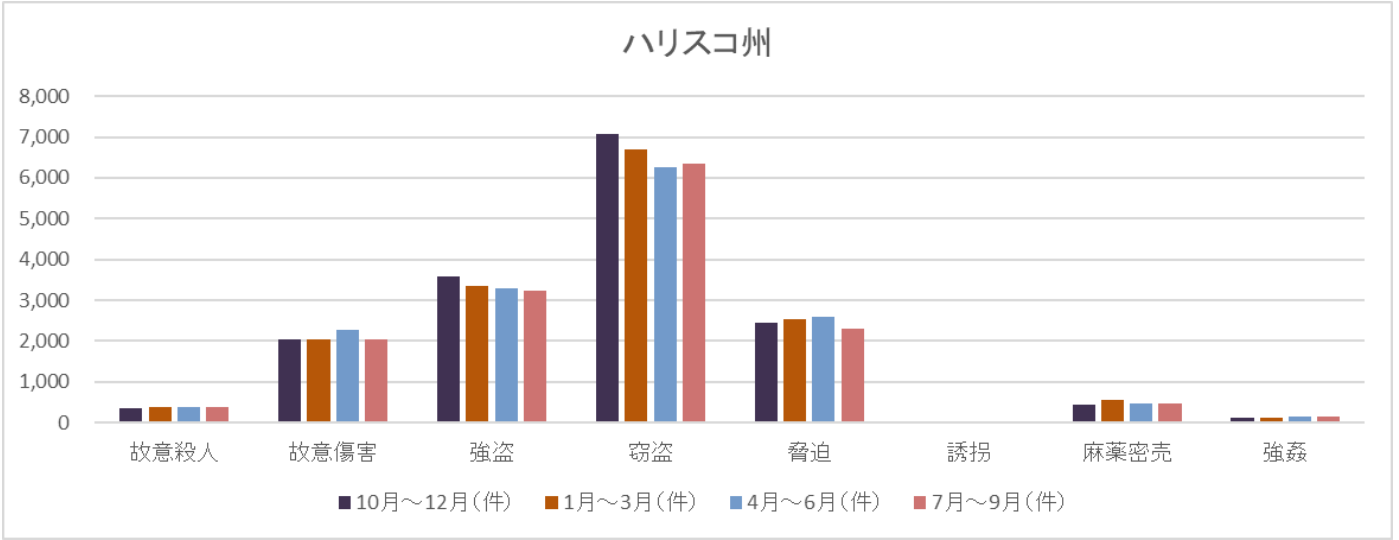
強盗が非常に多く発生している州です。強盗は邦人被害件数も多い犯罪で、銃器を使用した犯行となっていることから、一歩間違えば身体へ危害を加えられる可能性も非常に高く注意が必要です。高速道路上でも被害が発生しており、とりわけ早朝や夕方、人通りの少ない道路や店舗の利用は極力避けるなどの対策が必要です。グアダラハラ市はメキシコ第二の都市とも言われておりますが、人が多いところは犯罪も増える傾向があり、旅行者と分かるような格好はターゲットにされるリスクも高くなりますのでご注意下さい。

・邦人被害（7月～9月）0件

7月～9月の邦人被害報告はありませんでした。

■主な犯罪	10月～12月(件)	1月～3月(件)	4月～6月(件)	7月～9月(件)
故意殺人	353	373	381	380
故意傷害	2,031	2,055	2,277	2,029
強盗	3,571	3,349	3,306	3,230
窃盗	7,074	6,697	6,246	6,346

脅迫	2,436	2,529	2,601	2,301
誘拐	6	3	5	2
麻薬密売	441	571	481	477
強姦	133	130	150	142



(4) ケレタロ州

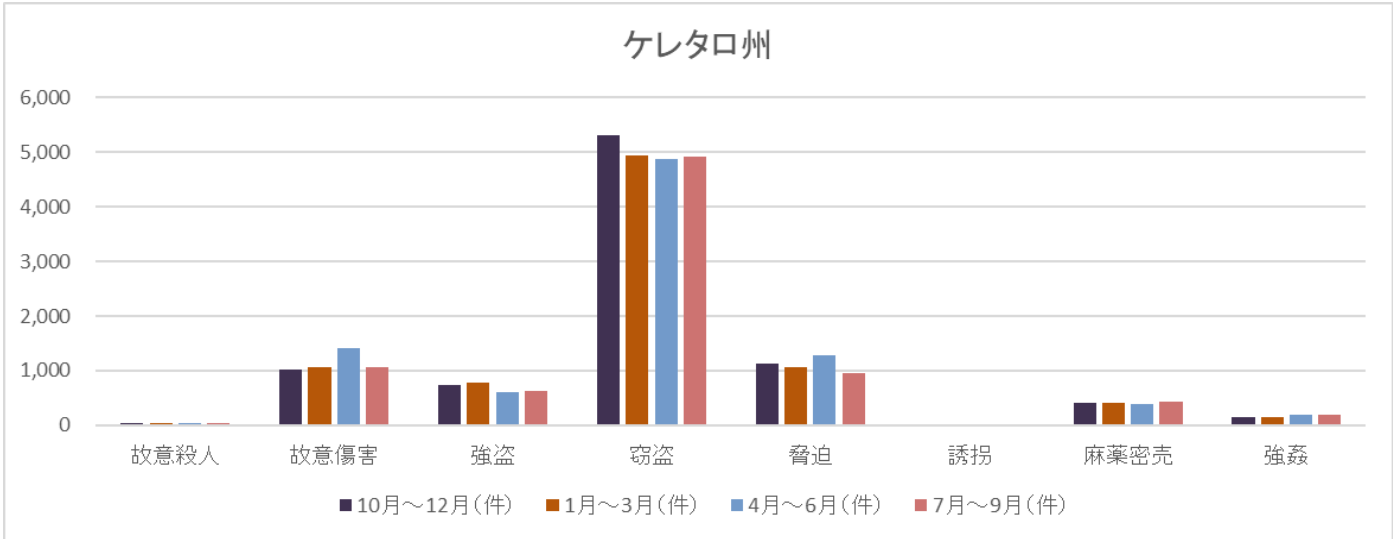
・人口約236万人 犯罪認知総数（7月～9月）14,823件

故意殺人の件数は少ないですが、犯罪の多くがケレタロ市で発生しており、強盗・窃盗が多く発生しています。隣接しているグアナファト州やメキシコ州の治安も悪く、州境での車両強盗被害も目立ちますので注意が必要です。都市間の移動については、高速道路を利用して下さい。

・邦人被害（7月～9月）0件

7月～9月の邦人被害報告はありませんでした。

■主な犯罪	10月～12月(件)	1月～3月(件)	4月～6月(件)	7月～9月(件)
故意殺人	40	44	40	49
故意傷害	1,026	1,061	1,406	1,057
強盗	727	774	605	629
窃盗	5,323	4,932	4,867	4,916
脅迫	1,119	1,073	1,292	956
誘拐	0	2	0	2
麻薬密売	400	400	379	435
強姦	144	157	196	198



(5) サンルイスポトシ州

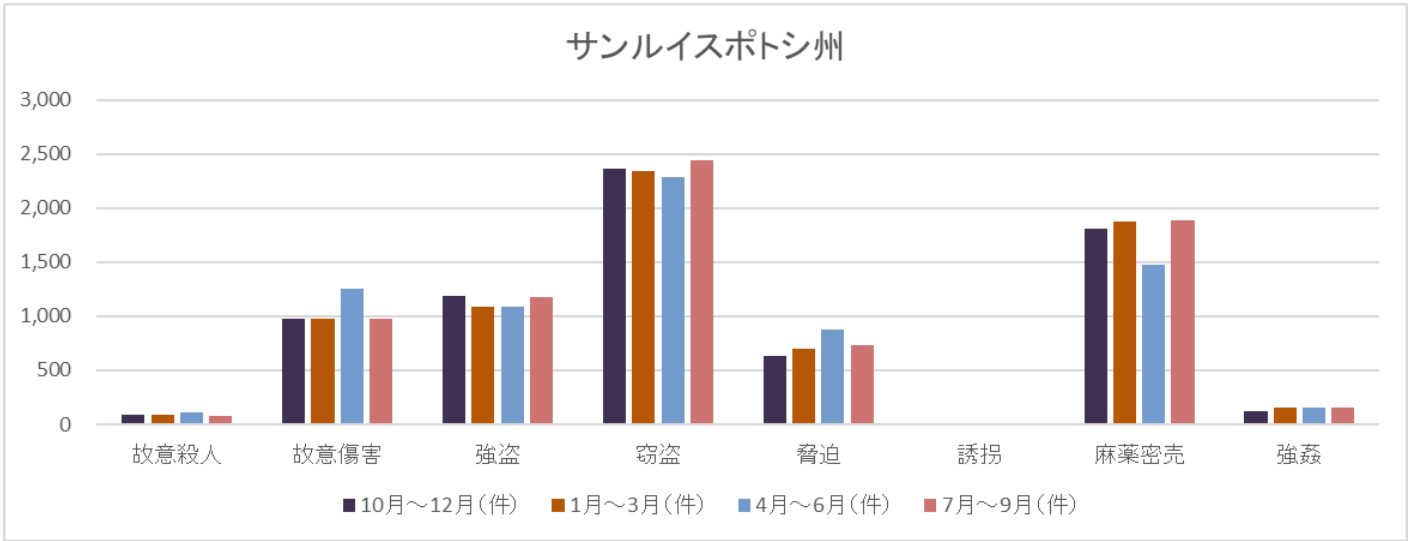
・人口約 2 8 2 万人 犯罪認知総数（7 月～9 月）1 4, 2 1 4 件

強盗件数は年々増加傾向となっており、その発生率（人口の割合）も高くなっております。また、麻薬に関連する犯罪も顕著に増加しており治安悪化傾向となっております。今のところ、目立ったカルテルの抗争は見られませんが、州東部では移民を狙ったと思われる誘拐事件も多発しておりますので、十分注意をして下さい。

・邦人被害（7 月～9 月）0 件

7 月～9 月の邦人被害報告はありませんでした。

■主な犯罪	10 月～12 月(件)	1 月～3 月(件)	4 月～6 月(件)	7 月～9 月(件)
故意殺人	86	93	106	81
故意傷害	973	976	1,254	972
強盗	1,185	1,086	1,083	1,179
窃盗	2,367	2,342	2,280	2,442
脅迫	632	703	877	736
誘拐	2	2	0	2
麻薬密売	1,812	1,878	1,477	1,891
強姦	121	157	156	153



(6) サカテカス州

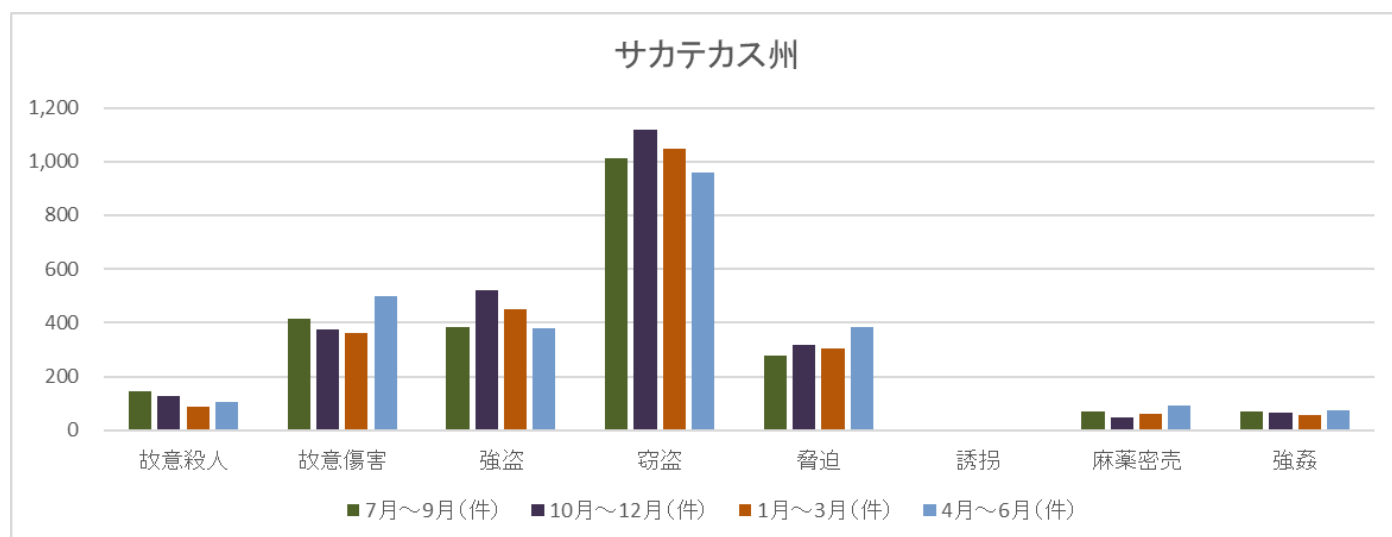
・人口約162万人 犯罪認知総数（7月～9月）6,359件

故意殺人の発生率（人口の割合）は、他の州と比べても非常に高い数値となっています。殺人の多くは麻薬関係者と言われておりますが、サカテカス州では複数の麻薬カルテルが抗争を行っているため、十分注意が必要です。

・邦人被害（7月～9月）0件

7月～9月の邦人被害報告はありませんでした。

■主な犯罪	10月～12月(件)	1月～3月(件)	4月～6月(件)	7月～9月(件)
故意殺人	127	89	105	90
故意傷害	377	363	498	345
強盗	521	451	378	445
窃盗	1,118	1,046	960	926
脅迫	319	306	386	314
誘拐	4	3	1	2
麻薬密売	49	61	93	129
強姦	67	56	76	75



3 安全に関わる諸問題及び対応策

- (1) メキシコ国内では、麻薬に関係する犯罪組織の抗争が活発化しており、これら組織が関与した発砲事件や殺人事件、警察官を直接狙った襲撃事件も発生しています。それら事件に巻き込まれないためにも、夜間の外出やそれら組織関係者が集まるようなバーやクラブ等の出入りについて極力避けるとともに、違法薬物には一切かかわらないことが大切です。また昼夜を問わず一般市民が利用する公共の場所においても、発砲事件に遭遇する可能性は十分に考えられるため、普段から周囲の変化に敏感になれるよう注意して下さい。
- (2) 銃器を利用した強盗も増加しているため、この様な事件に巻き込まれないためにも発出される領事メール等を参考に、行動の制限（犯罪が多発する時間帯の外出制限、事件多発地域への通行を避ける等）を行うことで、被害に遭うリスクを下げるのが重要です。また、銃器を利用した車両強盗事案では、メキシコ人被害者が抵抗したために撃たれる死傷事件が少なからず発生しています。万が一にも事件に遭遇した際は、抵抗せず犯人の指示に従って下さい。
- (3) コンビニエンスストアやレストランの駐車場における車上荒らしが引き続き発生しており、これら店の立地や利用する時間帯に注意するとともに、車両を離れる際は貴重品を放置しないよう注意が必要です。

- (4) バヒオ地区内では車上狙い被害や45号線D線上の強盗被害が目立ちます。45号線D線を利用する際は、可能な限り日中移動と複数人、複数台で行動し、行動スケジュールを家族、友人、会社へ事前に伝えておくことや、緊急連絡先をメモし携帯しておく、グアナファト州警察が提供するアプリ「EmergenciasGT0911」をダウンロードしておく、などの対策を検討下さい。万が一強盗被害に遭遇してしまったら、気持ちを落ち着かせましょう。犯人は拳銃等を所持している可能性が非常に高いため、絶対に抵抗することなく犯人の要求に従い、まずは自分自身の命を守ることを優先して下さい。犯人から解放されたら、周囲に助けを求め911（警察、消防、救急への緊急通報番号）通報、検察局へ被害届けを提出して下さい。

4 その他

事件事故に遭った際は必ず911番通報を行うよう心掛けて、犯人の逮捕を希望する場合は、検察局（Fiscalía General）に被害届けを提出して下さい。被害届けを提出しない場合は、発生した犯罪が事件化されないため、犯罪者が野放しとなります。

同時に管轄する大使館及び総領事館にも被害報告をしていただければ、日本人の皆様へ注意喚起することができるとともに、治安当局に対して事件の再発防止等を当館から訴えることができるためご協力をお願い致します。

5 日本人被害の犯罪発生状況

在メキシコ大使館ホームページの「安全情報」に邦人被害一覧を掲載しておりますので、ご参照下さい。

URL: https://www.mx.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/seguridad_anzen.html

以上